

第6回、第7回検討会を踏まえた今後の対応(案)について

平成31年2月

第6回、第7回検討会を踏まえた今後の対応（案）について

回	ご意見	今後の対応（案）	備考
第6回 (H30. 3)	<p>■平成29年度モニタリング調査結果について</p>		
	<p>①ワンドのモニタリング項目に、形状変化の把握を加えるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平面形状については、UAV（ドローン）で上空から撮影しており、水際線の変化がないか確認している。 ・河床については、調査時に泥厚を測定しており、堆積が進行しないか確認している。 	資料3-1 ワンド等湿地の再生
	<p>②早出川での出水時流速解析については、水制と水制の間についても実施すると検証解析に役立つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月の出水について、表面流速調査を実施し、上流から下流までの流速変化を把握した。 	資料3-3 早出川
	<p>③早出川について、今回の結果と、過去に設置した水制と瀬との関係を比較してみるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捷水路整備に合わせて行われた環境配慮と、拡縮水路との比較を行った。 	資料3-3 早出川
	<p>④早出川では、整備後に重要種のバイカモやカマキリが確認されるようになり、とても良い成果が出ている。今後の河川整備に応用できる成果だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県や自治体に対して、取り組み成果を広く情報発信するなど、連携を検討していきたい。 	
	<p>⑤早出川でのこの取り組みを踏まえて、早出川の県管理区間も含めた川管理のための意見交換を実施することが望ましい。</p>		
	<p>■焼山地区ワンドについて</p>		
	<p>①本川との接続部については、本川の水位変動によって、ワンドの水交換が生じる状態を維持してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に、ワンド下流部・合流部の拡幅及び土砂の撤去を行い、水交換を改善した。 ・今後は、モニタリングにより堆積状況等を確認し、必要に応じて維持管理を行う。 	資料3-1 ワンド等湿地の再生
<p>■阿賀野川自然再生計画書（案）の更新について</p>			
<p>①各箇所での整備が進んでいるため、現地見学ができるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年11月27日第7回検討会にて、現地見学会を実施した。 		
第7回 (H30. 11)	<p>■現地見学会</p>		
	<p>①現地にて、整備箇所での再生効果が確認できた。早出川については、今後もモニタリングを継続していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、整備後3カ年は詳細なモニタリングを実施し、その後は河川水辺の国勢調査等で、状況を確認する。 	
	<p>①NPO法人五泉市トゲソの会では、市内生息場でのトゲソが急減していることから、早出川への移植を検討している。自然再生と連携できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早出川でのモニタリング調査にあわせて、湧水の湧出箇所を確認する。結果は、トゲソの会に提示する。 	